

日本経済史Ⅱ

科目ナンバリング ECH-202
選択必修 2単位

宮田 純

1. 授業の概要(ねらい)

通史としての日本経済の歴史についての知識受容を通じて、大学生として、社会人として、あるいは今後の生活体系に不可欠な素養の蓄積をはかる。この修練は確実に経済活動を行うこととなる受講生にとって、きわめて有益な場となる。授業の聴講だけでなく、予習・復習を併せもつての学習が必要であるが、授業時に提示する重要キーワードについての事前学習、および、授業後の加筆も含めた知識の再整理(復習)を継続することにより、知的基盤の確立化がはかられる。なお、本講義では、開国期から戦前までを扱う。

2. 授業の到達目標

国際社会の中の日本、ならびに技術開発の進展といった観点から、経済活動の変質を把握し、通史としての日本経済史を把握することができる。

日本経済史を構成する専門用語に対して確実な理解を寄せ、それを適切に使用しながら表現することができる。

日本経済の過去の展開を把握したうえで、それを参考としながら現実を分析し、さらに具体的な未来を構想することができる。

3. 成績評価の方法および基準

試験100%(注:持込等は一切不可)

5回以上欠席した場合は受験できません。

4. 教科書・参考文献

教科書

授業中に指示する

5. 準備学修の内容

【予習】授業時に提示した重要キーワード(専門用語)についての事前調査学習

【復習】講義録に私見としての論述を施した再整理

6. その他履修上の注意事項

※私語厳禁

※オフィスアワーについて

オフィスアワーを活用する場合は、必ず、事前に jmiyata@main.teikyo-u.ac.jp に連絡をください。時間を調整して有益な時間とを考えています。

※LMSによる授業回が複数回ありますので、LMSによる通知の受信を確実にしておいてください。

※【重要】該当授業の資料を、前日までにLMSで配信しますので、各自プリントアウトして参加すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 はじめにーガイダンスー
- 【第2回】 日本経済史Ⅱの分析視角ー史的経緯のとらえかたー
- 【第3回】 近代化とは何か
- 【第4回】 開国期の経済事象
- 【第5回】 岩倉使節団の史的意義
- 【第6回】 明治新政府の諸政策
- 【第7回】 明治新政府の殖産興業政策
- 【第8回】 大久保利通の経済政策
- 【第9回】 日清・日露戦争と日本経済
- 【第10回】 第一次世界大戦と日本経済
- 【第11回】 関東大震災と日本経済
- 【第12回】 金融恐慌・世界恐慌・昭和恐慌と日本経済
- 【第13回】 戦時体制下の日本経済
- 【第14回】 まとめ
- 【第15回】 授業内定期試験とまとめ